

# 黒部を未来へつなぐ



## <ご挨拶>

皆さん、こんにちは。黒部市議会議員の成川正幸です。

日頃より、皆様のご支援、議員活動に対するご協力により、7年半活動させていただいていることに感謝いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大により、人が集まることが難しくなるなど、今までの常識が非常識となったコロナ禍の2年間となりました。

一方でなかなか進まなかったデジタル化の波が急速に広がりを見せるなど私たちの暮らしは大きく変化いたしました。そんな中で、今後のまちづくりの方向が決まる大切な令和4年度がスタートしました。今回はその令和4年度予算審議を掲載しました。この度、黒部市議会において副議長に就任いたしました。定例会では一般質問をする機会がなくなりましたが、より一層、市民の声が届く議会となるよう努めていきたいと思っております。



大自然のシンフォニー文化交流のまち黒部は人々を魅了する大きな可能性があります。

地方創生も進み、全国の地域では、どこに行っても同じような金太郎飴から、差別化してきました。本市においても最大限に魅力発信を行い、誰一人取り残されることがなく、『弱者が弱者のままでも生活が出来る地域』。そして『全ての市民が幸せで輝く未来になる』ように今後も取り組んでいきます。

黒部を未来につなぐ 成川まさゆき

## まさゆき KENBUNROKU MANABINOJIKAN 見聞録「学びの時間」

～学び～

今回もオンラインでの学びを紹介。

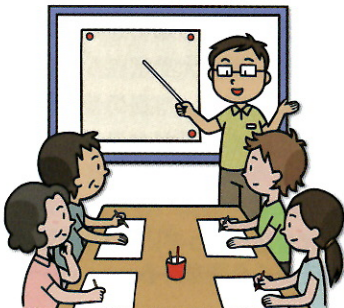
- ・インクルーシブとやま 2022
- ・北陸新幹線開業7周年7フォーラム



R4年3月20日(日)  
第44回 EST セミナー in 黒部  
ホテルアクア黒部



R4年2月19日(土)  
ホームレス支援炊き出し  
サンヨーホテル



R4年4月2日(土)  
手をつなぐ育成会研修会  
コラーレ



R4年1月28日(金)  
令和3年度引きこもりサポーター養成研修  
富山県心の健康センター



# なりかわ 黒部を未来へつなぐ 成川まさゆき

黒部市議会議員  
facebookで活動公開中!

令和4年3月定例会 予算特別委員会 ～成川の主な質問を掲載します～

一般会計 216億5900万円 特別会計 60億8,369万8千円  
企業会計 185億3,552万6千円 全会計 462億7,849万4千円  
(昨年比 - 1.5%、6億8,681万7千円の減)

民生費 <日中一時支援事業費>

日中一時支援事業費 (6,600千円)

放課後等デイサービスとの併用で  
利用機会が増えると思うか。



A

併用は今のところ考えていない。



福祉課長

課題 障がい児の日中一時支援について  
質問。土日や急な利用希望も多く、  
施設側が利用者側のニーズに答えるために、人員  
確保が絶対条件であるが、人員が整った施設か  
ら制度が使えるよう整備が肝要だと考える。

<成年後見制度利用促進事業費>

成年後見制度利用促進事業費 (300千円)

近年、この制度は障がい者家族会などでも  
重要性が高くなってきている中での予算減額  
だか。



A

市長申し立ての必要経費及び後見人報酬等  
になる。件数は増えるように市として支援し  
ていきたいと思っているが、市長申し立てが  
増えるとは想定していない。



福祉課長

課題 この制度は、高齢者を想定して作られており障がい  
児等、長期利用を想定していないために利用しづら  
いものになっている。法改正が必要だと強く感じる。

<老人クラブ補助金>

老人クラブ補助金 (6,588千円)

補助金申請の簡素化と事務処理等、老人クラブ  
運営に関して補助金以外にサポート出来ない  
か。



A

今後も申請及び請求事務簡素化に向けて改  
善していく。その他支援は考えていない。



福祉課長

課題 現場の声をよく聞き、健康寿命延伸に繋げていく必要  
がある。



黒部市議会 HP 録画映像  
「予算特別委員会録画映像の配信」で  
ご覧いただけます。

衛生費 <産後ヘルパー派遣事業費>

産後ヘルパー派遣事業費 (48千円)

サービス事業者はあるのが  
周知方法を工夫する必要があるのでは。



A

県登録の3事業者と話をしていく。  
妊娠中から登録することが可能。  
子育て世代包括支援センターにて妊娠  
届け出時から制度周知に努めていく。



市民福祉部理事

課題 先ずは制度を広く知ってもらい、利用者が増加すれば  
サービス事業者も増えてくると考える。

<子宮頸がん予防接種事業費>

子宮頸がん予防接種事業費 (19,253千円)

副反応があった場合、市の対応・対策は  
出来ているのか。



A

副反応は考えうることで留意と相談  
窓口機能の充実という国の通知。かか  
りつけ医院から富山大学病院が専門病  
院機関となっており、市民の皆さんの  
相談に受けていく必要がある。



市民福祉部理事

課題 実施するのであれば自信をもって、副反応の対応も  
しっかりおこなっていく必要がある。



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会  
連絡先

成川正幸 (なりかわ まさゆき) TEL (0765)57-1189  
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189  
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com

ホームページ



**ゼロカーボンポータルサイト開設負担金 (34 千円)**

**目玉事業はあるのか。**



市民環境課長

サイトは富山県77チームで取り組む。本市の取り組みもこのサイトで発信をしていく。どのように進めていくのかを今後検討。

**課題** 県がやるからではなく、本市も積極的に取り組んでいく必要がある。

**商工費 <にいかわ観光圏と新川地域観光開発>**

黒部・宇奈月温泉観光局運営補助金 (51,774 千円)  
新川地域観光開発協議会負担金 (700 千円)

**以前から統合出来ないのかという議論があったが、現在の2団体の立位置はどうか。**

名称	一般社団法人 富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会	新川地域観光開発協議会
会長	黒部市長	魚津市長
エリア	魚津、黒部、入善、朝日	滑川、魚津、黒部、入善、朝日
主な活動内容	これまでの観光振興の取り組みをより一層強化し、にいかわ地域の地域資源を活かした観光旅客の来訪・滞在の促進を図る。	域内の豊かな資源を活かそうとJRや旅館などの観光事業者及び行政により、観光マップの作成や出向宣伝の取組み、魚津駅観光センターの設置など、情報発信の分野を中心に連携協力した広域的な観光振興に取り組む。



商工観光課長

合併できないのかという話を事務局同士でしたことがある。

**課題** 新川エリアに観光団体2つ必要が。事業内容も類似し、マンパワーの分散になっていないが。

**農林水産業費 <漁の雇用事業就業奨励金>**

**漁の雇用事業就業奨励金 (50 千円)**

就業者減少率は県内でもトップクラス。近い将来、黒部から漁業が消える恐れがあり、安定した収入確保と新規雇用者を増やすこと。過去5年の新規就業者数は2名。黒部市の漁業を守るためにもう少し支援出来ないか。



**(農林水産課長)** 新規は見込みで計上している。県に新規就業者用の相談窓口あり。県内市町村が共同で委託している。1日体験や5日間研修、1年間の研修体験、賃金は最高14万円程で水産庁のメニューがある。



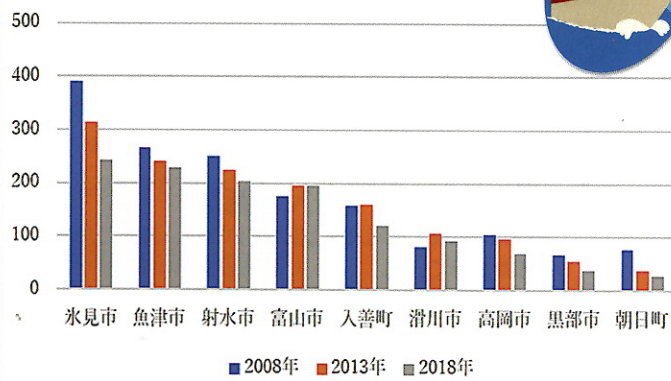
農林水産課長

**(市長)** 漁協協同組合と魚市商業協同組合一緒になること先決で、双方相まって初めて真剣に漁業の後継者問題に取り組んでくれるものと期待している。



黒部市長

富山県市町別漁師数



**課題** 本市漁業の火を消さないように支援をしていかなければならない。

**黒部宇奈月温泉駅乗降者数調査業務委託費 (1,058 千円)**

テータの利用目的と新幹線が私たちの生活にどのように影響を及ぼしているのか、検証するテータ取りが必要ではないか。



交通政策班長

2年後の敦賀開業を見据えて数字をつかんでいくことが目的。開業からテータ取り続けているが利用していない。

**課題** 新幹線が開業して7周年が経過し、開業当時から時代は変化してきている。1年で100万円は10年経れば1千万円。情性で行っているものは必要なものに変えていくべきだと考える。



## データから見る新幹線開業での変化

東洋経済オンラインにて『北陸新幹線「かかやき楽通り」小規模駅の生きる道』という記事で紹介されています。

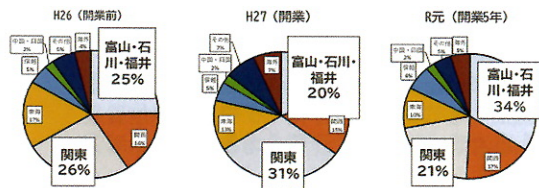


3月12日「北陸新幹線開業7周年フォーラム」に参加しました。このフォーラムは北陸新幹線沿線の各駅の方々と新幹線開業でこれまでとこれからを語るフォーラムでした。北陸新幹線開業によって観光はもちろん私たち黒部市民の生活はどう変わったか？を考える機会となりました。今回はその内容を簡単にご紹介します。

### 観光客の動向

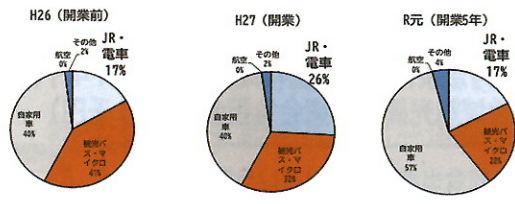
開業で観光客は増加。当初は関東圏の観光客が伸びていたが、数年で近隣にシフト。利用交通機関もJR・電車から自家用車へ移行してきている。

#### 宇奈月温泉宿泊者地域別人数割合



#### 宇奈月温泉宿泊者の交通機関利用状況

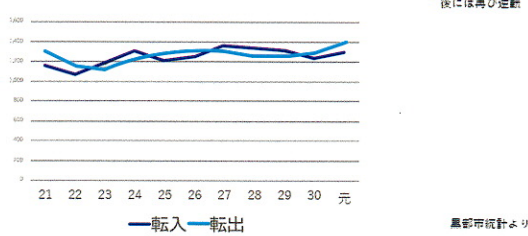
・宇奈月温泉宿泊者利用交通機関別人数および「全体に対するJR・電利用」の割合



### 転入・転出

開業当初は転出を転入が上回っていたが、数年で逆転しストロ一現象が起きている。

#### 黒部市転入転出数



### 高校生の進学先

関西関東圏より近隣へシフト。補助金申請者も年々増加。

年度	通学	通勤	実績額
H28	5人	0人	680千円
H29	7人	7人	1,960千円
H30	10人	8人	2,628千円
R1	13人	9人	3,349千円
R2	16人	9人	2,601千円

### 【医療関係】

#### <黒部市民病院と提携している金沢大学との繋がり>

教授との打ち合わせ時、大学病院へ行っていたが、開業後は教授が黒部に来ることが多くなった。応援医師が来やすくなった。

2年後の敦賀延伸に向けて私たち市民にとんな影響をもたらしているのが検証と行動が必要です。

今回、黒部市の観光、PTA、医療関係の多数の皆様より貴重な情報や資料をいただきまとめることができました。ありがとうございます。

### 終わりに・・・

市長選が終わりました。自分自身、あらためて故郷黒部の現状と未来を考えることが出来ました。市民の皆様にとっても未来の黒部市を考える良い機会だったのではないのでしょうか。一人一人が意識を変えて今までよりちょっとだけ地域の事を考えることが出来たなら、素晴らしい地域になると思います。

なりかわ 黒部を未来へつなぐ **成川まさゆき** facebookで活動公開中！

なりかわ 成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市榎木 107-7  
TEL & FAX (0765) 57-1189

Mail/masa.narikawa@gmail.com